

働き方改革推進部会の取組状況

第3回推進部会（平成29年10月10日）

- 議事1 「平成29年の取組に関する確認」に対する各団体の取組状況について
 - ・資料3のとおり
- 議事2 経済産業政策について
 - 「働き方改革関係」国の動きについて
 - ・関東経済産業局から「よろず支援拠点事業」や「中小企業等経営強化法」について説明。
 - ・長野労働局から働き方改革に係る国の動きについて説明。
- 議事3 長野県「働き方改革推進の気運醸成事業」の内容について
 - ・シンポジウムについて、28年度実施状況及び29年度計画について説明。
- 議事4 長野県総合5か年計画について
 - ・労働力不足解消の方向性について説明・議論。
- 議事5 課題検討

専門部会における各委員からの主な意見

【働き方改革を進める上でのポイント】

- ・トップからのメッセージに加え、労使間で職場の現状分析が重要。
- ・業務を可視化することが大事。

【働き方改革を進める上での経営者に係る課題・要望】

- ・働き方改革の必要性は十分感じていても、費用対効果や付加価値の向上を最優先に考えると悩ましい。
- ・働き方改革を行いたくとも、取引条件など外圧があり、自助努力だけでは対応できない。
- ・外圧が改善されるように気運を盛り上げてほしい。
- ・多くの企業が労働時間短縮などの働き方改革を進める中で、そのしわ寄せを下請け企業に向ける心配がある。
- ・下請け法の中で取り締まってほしい。

【その他】

- ・「生産性の向上」や「働き方改革に向けた取組」の指示を受け、管理職や総務・人事担当者の負担が増大している。
- ・働き方改革はPDCAの繰り返し。円滑に進まないという意見も集約し、施策を検討してほしい。
- ・労働組合がない事業所では、労使協議がされない傾向があるため、労使協議の確保を継続的に呼びかけてほしい。